

四季の輝きに出会う 高原と湖のまち



富士見百景

下諏訪町の湖畔から遠望する富士山は国土交通省関東地方整備局が選定した「関東の富士見百景」に選ばれています。



諏訪湖

諏訪盆地の真ん中に位置する諏訪湖は、海拔759m、一周約16kmの信州で最も大きな湖です。長野県で唯一の漕艇場があり、ボートは町民スポーツのひとこぼれとなっています。諏訪湖をぐるっと周遊できるジョギングロードが設けられて、湖畔は散策やジョギングを楽しむ人々の憩いの場として親しまれています。自然豊かで、夏は過ごしやすいうちから、周辺はスポーツ合宿の適地としても知られています。



赤砂崎の桜

漕艇場前

八島ヶ原湿原
約二千年をかけてミズケの堆積によって現在のような地形になったといわれ、学術的にも大変貴重な高層湿原です。周辺は貴重な動物植物の宝庫で、国の天然記念物(文化財)に指定されています。特に6月中旬から9月中旬頃まで亜高山植物の可憐な花が咲き誇る姿を遊歩道をたどりながら眺めることが出来ます。



ニッコウキスゲ(蝶々深山)



霧ヶ峰第2ピークから八島湿原を望む



八島ビジターセンター(あざみ館)
八島湿原でのトレッキングや自然観察の拠点。
園 9:30~16:30(4月下旬~11月中旬)
休 期間中無休 園AED設置施設
園 入館無料 園TEL.0266-52-7000



初夏の八島湿原



御柱祭(下社木落し)

式年造営御柱大祭 諏訪大社 御柱祭

諏訪大社では七年に一度、甲と寅の年に宝殿を造営し、社殿の四隅にあるモミの大木を建て替える祭りをを行います。太古から続く自然権面の祭りを今に留める雄大な祭事として知られています。

次回、令和四年開催

EVENT CALENDAR

- 1月 …… ● 初詣
2月1日 …… ● 遷座祭(諏訪大社下社)
3日 …… ● 節分祭
4月 …… ● 水月公園桜まつり
● 焼地蔵尊礼祭(来迎寺境内)
● 諏訪湖開き(下諏訪港開港式)
8月1日 …… ● お舟祭り(諏訪大社下社の遷座祭)
9月 …… ● りんご祭り(町内りんご園)
12月31日 …… ● 二年参り
春・秋 …… ● ぶらりしもすわ 三角八丁



六月公園桜まつり

お舟祭り

もづくり体験 セイコーOBの技師が教える時計作り体験にチャレンジしよう。

しもすわ今昔館 おいでや
時計工房 儀象堂
●ウォッチ製作
所要時間：20分~6時間
料 4,860円(税込)~
●クロック製作
所要時間：45分~2,500円(税込)~
※予約が必要なコース有。お問い合わせください。
※別途入館料が必要です。

世界でひとつ、あなただけのオルゴールを作ってみませんか。

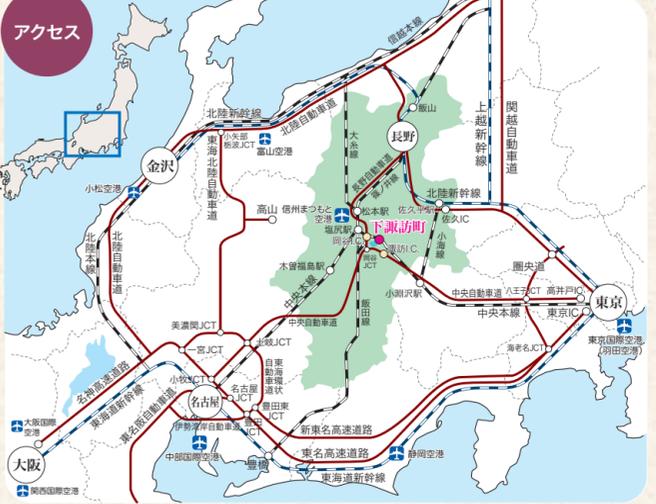
JPOP からクラシックまで約700曲の中からお気に入りの1曲を選曲。ドラムの固定やゼンマイ入れ、振動板の噛み合わせ作業は、技術スタッフが丁寧にご案内いたします。

しもすわ今昔館 おいでや

所要時間：20分~6時間
料 4,860円(税込)~

オルゴール組立体験工房

時間：毎正時~(40分)
参加人数：1名様~40名様
料 2,160円(税込)~
※ケース料金+入館料(ケースにより料金が異なります)
※10名様以上はご予約ください。



電車(JR)ご利用の場合		自動車ご利用の場合	
新宿	中央東線 特急 2時間10分	東京方面	中央自動車道 2時間
名古屋	中央西線 特急 1時間50分	大阪方面	関越自動車道 1時間45分
	中央東線 普通 15分	諏訪IC	諏訪IC 20分
		佐久IC	国道142号 1時間20分
		小牧JCT	中央自動車道 2時間
		岡谷JCT	岡谷IC 10分

おいでなして 信州 下諏訪

下諏訪町観光ガイド ダイジェスト

中山道と甲州街道が出会う
大社といで湯の宿場まち



諏訪大社下社秋宮(神楽殿)

ぐるっとしもすわ 観光マップ

下諏訪町内を巡回するおさみ号
 大人150円、小学生80円、1日フリー券300円(税込)
 TEL.0266-27-8673(JRバス関東株式会社)

おんばしら館 よいさ



七年に一度開催される御柱祭に対する諏訪人の思いと迫力をお楽しみいただける施設です。

9:00~17:00 年中無休(臨時休館あり)
 大人300円、小中学生200円(税込)
 TEL.0266-26-0413

- 地図の凡例**
- 旅館・ホテル
 - 温泉・足湯
 - 駐車場
 - タクシー乗り場
 - ガソリンスタンド
 - 神社 寺 寺院

伏見屋邸 (ふしみやてい)



元治元年の建築と推定される木造二階建ての旧商家。

9:00~17:00(入館は16:30まで)
 年中無休(臨時休館あり)
 月曜日と祝祭日の翌日、12/28~1/4
 TEL.0266-27-3441 無料

すわのね



ものづくりの楽しさ、上質で美しい響きを存分にお楽しみいただけるオルゴールミュージアムです。

9:00~17:30(12月・2月17:00まで)
 11月~2月の月曜日(祭日・重なる日は翌火曜日)
 大人1,000円、小中学生500円(税込)
 TEL.0266-26-7300

諏訪湖



9:00~16:00
 1台につき1時間100円(税込)
 TEL.0266-27-0005

TEL.0266-27-0001



しもすわ今昔館 おいでや

○時計工房 儀象堂
 世界に誇る時計をテーマにした施設です。時計づくりを体験できる工房などがあります。

○星ヶ塔ミュージアム 矢の根や
 「星ヶ塔遺跡」の黒曜石を中心に下諏訪町内出土の埋蔵文化財が多数展示されています。

9:00~17:00(12月・2月9:30~16:30)
 年中無休(臨時休館あり)
 月曜日と祝祭日の翌日、12/28~1/4
 TEL.0266-27-0001

下諏訪温泉 宿泊ガイド

地区	名称	電話番号(0266)	室数	収容人数	宿泊料(税別)	備考
中山道沿い	1 聴泉園かめや	75-0161	9	40	16,000円~	露天風呂有
	2 桂便屋旅館	27-8024	5	10	15,000円~	露天風呂有 日帰り入浴可
	3 ぎん月	27-5011	15	50	15,000円~	露天風呂有 日帰り入浴可
	4 古久家旅館	27-8811	5	20	8,000円~	露天風呂有
	5 鉄鉱泉本館	27-8063	8	36	12,000円~	露天風呂有
	6 中川旅館	27-8556	5	30	6,000円~	露天風呂有
	7 梅月	27-0055	5	15	15,000円~	露天風呂有
	8 旅館 奴	27-8530	5	15	14,800円~	露天風呂有
	9 御宿まるや	27-5151	5	15	20,000円~	露天風呂有
	10 みなとや旅館	27-8144	3	6	17,150円~	露天風呂有
甲州道中沿い	11 B&Uベンハウス	28-9000	8	16	4,500円~	※要予約料金
	12 旅館おくむら	27-8106	8	20	10,150円~	※要予約料金
市街地	13 グリーンサンホテル	26-1455	19	26	6,300円~	※要予約料金
	14 マスヤゲストハウス	55-4716	4	19	2,900円~	※要予約料金
諏訪湖畔	15 諏訪湖旅館	27-8592	3	9	4,000円~	※要予約料金
	16 神乃湯	27-5526	14	38	9,000円~	日帰り入浴可
	17 宮乃湯旅館	28-3888	8	25	10,000円~	日帰り入浴可
八島湿原	18 奥霧ヶ峰高原荘	58-5355	10	30	8,000円~	※要予約料金
	19 ヒュッテみさやま	75-2370	6	18	4,000円~	※要予約料金
	20 八島山荘	58-5357	9	30	7,000円~	※要予約料金
	21 鷺が峰ひびつて	58-8088	5	8	12,000円~	※要予約料金

※宿泊料は1泊2食2名様で宿泊の場合、1名様あたりの金額です。(サービス料、消費税別)
 ※宿泊料はお問い合わせは 下諏訪観光案内所 ☎(0266)28-2231 (水曜定休)

下諏訪温泉 宿泊ガイド

9:00~17:00(12月・2月17:00まで)
 11月~2月の月曜日(祭日・重なる日は翌火曜日)
 大人1,000円、小中学生500円(税込)
 TEL.0266-26-7300

柿蔭山房 (しいさんぼう)
 アラragi派歌人であった島木赤彦の住まい跡。

橋本政屋 (はしもとまさや)
 甲州街道の茶屋跡。江戸時代の面影をそのまま残しています。

諏訪湖博物館 赤彦記念館

諏訪湖と人々の暮らしの様子、歌人・島木赤彦の資料を展示しています。

9:00~17:00 TEL.0266-27-1627
 月曜日、祝祭日の翌日、12月28日~1月4日
 大人350円、小人170円(税込)



神話と伝説の名湯・下諏訪温泉

綿の湯、児湯、巨過の湯... 中山道唯の温泉宿場として幾多の旅人や文人墨客を迎えてきた名湯・下諏訪温泉。人々を温かくお迎えしたおもてなしと湯治場の風情が残る「いで湯」の里です。



グルメ



下諏訪温泉 公衆浴場めぐり

下諏訪町内には温泉公衆浴場が設けられ、気軽に温泉気分を味わうことができます。料金は一般的な銭湯より安い240円から。ちょっと立ち寄ってみませんか。

菅野温泉 9:00~21:30	巨過の湯 9:30~22:00	遊泉ハウス児湯 9:30~22:00
菅野温泉 9:00~21:30	湖岸の湯 月曜日定休	矢木温泉 月曜日定休
新湯 月曜日定休	新湯 月曜日定休	新湯 月曜日定休



いにしへの浪漫漂う宿場町

古事記や日本書紀にも登場する諏訪大社が鎮座する神の里であり、中山道と甲州道中が出会う交通の要衝としても栄えた下諏訪。様々な時代の記憶が、今でもそこかしこに残るまちです。

諏訪大社下社春宮
 諏訪大社は諏訪湖の南の上社前宮と本宮、北の下社春宮と秋宮、四社を合わせて総称します。古代は狩猟農耕の神として、武士の時代には軍神として、現在では産業や交通安全、縁結びの神として崇められています。秋宮はイチイの木を、春宮は杉の木を御神体として拝しています。

諏訪大社下社秋宮
 幣拝殿の見事な彫刻は江戸中期の名匠、立川和四郎齋棟の代表作。三方切妻造りの神楽殿として、もに国の重要文化財です。

宿場街道資料館
 江戸時代の宿場民家を保存する資料館。貴重な歴史民俗資料が保存・展示され、当時の様子を知ることができます。

下諏訪宿本陣
 参勤交代の大名らが泊まった本陣。江戸時代の建物と庭園が、今もそのまま残されています。

万治の石仏
 諏訪大社下社春宮の近く、田んぼの中に鎮座する阿弥陀如来の石仏で、一九七四年に下諏訪を訪れた画家・岡本太郎氏が「こんな面白いものは見たことがない」と絶賛したことから有名になりました。

慈雲寺
 一三〇〇年(正安二年)中国皇帝の国使として、元国四太史教名山のつづ、浙江省普陀山観音禪寺(現普濟寺)より来朝。一山一寧国師により、観音菩薩が教えを垂れる寺、禅道場として開山されました。

